

温泉の利用状況について

泉質： ナトリウム・カルシウム-硫酸塩温泉
(低張性 中性 高温泉)

温泉成分の特徴： 鎮静作用があり、末梢循環障害、冷え性、軽い高血圧症のほか、きりきずや皮膚乾燥症等にも効果があります。
(分析場所：源泉)

源泉の温度及び湧出量： 45.4℃ 163ℓ/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり(直近成分分析年月日：H27.3.13)

浴槽の種類とその状況： 大浴場、露天風呂(全て温泉水を使用)

循環、かけ流しの状況： 循環・かけ流し併用式

(温泉資源の保護及び浴槽内の汚れを除去するため、浴槽に常に新しい温泉を注入しながら浴槽水を回収し、ろ過して再利用しています。オーバーフロー水は再利用していません。)

加水の状況： 人肌にほどよい湯温を保つため、必要に応じて、ごく希に水道水を加水しています。

加温の状況： 人肌にほどよい湯温を保つため、必要に応じて、ごく希に加温しています。

新湯との入れ替わり状況： ー

入浴剤等の添加： なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 週に1回完全にお湯を抜いて清掃の上、消毒を実施しています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行うため、塩素薬剤を備え付けの装置に投入し、浴槽内の塩素濃度を常に確認し、細菌の増殖を防いでいます。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年に2回実施しています。
※水質検査証は別に表示

平成27年 3月13日

施設名 阿蘇プラザホテル 望蘇閣

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会